



令和7年度 福島県立たむら支援学校 学校経営・運営ビジョン

校訓：＜自立＞＜希望＞＜共生＞

めざす学校像

田村地域の文化、歴史、産業、自然、人々とながら、共に生きる基盤をつくり、夢を叶える学校

学校教育目標

学びを積み上げ、豊かな心と健やかな体を養い、自立と社会参加をめざし、地域の中で生き生きと活躍できる人間を育成する。

進んで学ぶ力 思いやる心 丈夫な体

経営方針

- 1 教育的ニーズに応じた学びの充実と、個別最適化された、協働的、探究的な学びによる、学びの変革の実行
- 2 保健体育、道德教育、児童生徒指導、相談支援体制の充実による、豊かな心と健やかな体の育成
- 3 進路指導・キャリア教育、進路先開拓の充実による、自立と社会参加の実現
- 4 地域の人的・物的資源の活用と交流及び共同学習による、将来の基盤づくりの推進
- 5 特別支援教育のセンター的機能を果たすことができる、地域支援の充実と情報発信
- 6 研究と修養の励行による、教職員の専門性の向上
- 7 当事者意識、規範意識をもつ職員集団の形成による、不祥事の根絶
- 8 ワークライフバランスを保ち、児童生徒と向き合う時間を確保するための、働き方改革の推進 校長 小川令子

重点事項（学部、部、委員会等の取組）

1 学びの充実・変革の実行	2 豊かな心と体の育成	3 自立と社会参加の実現	4 将来の基盤づくりの推進
○ 教科横断的な視点により育成すべき資質・能力を明確にした授業実践の充実 □研修部□教務部□各学部 ○ 自立活動の中心的課題の的確な抽出及び、指導目標、指導内容の妥当性を高めるスタッフ会の工夫とサポート体制の継続 □教務部□自立活動担当□各学部 ○ 「教育的ニーズ」の3観点による的確な把握と保護者との合意形成の実施 □教務部□各学部□各担任・担当	○ 体力及び体の動きの向上を図るための学習活動等の工夫と継続的な運動習慣の確立 □保健体育担当□生徒指導部□各担任・担当□部活動担当 ○ 児童生徒の実態を踏まえた、性に関する指導の計画的・継続的な実施 □保健部□保健体育担当□養護教諭 ○ 特別の教科道德の計画的、実地的な指導の充実と実践事例の集積 □教務部□道德担当	○ キャリアパスポートの様式の見直しを含む活用方法の確立と連続した進路指導の実現 □進路指導部 ○ 基本的生活習慣や役割を意識して働く力など、将来の社会生活に必要な力を育成するキャリア教育の系統的实施 □進路指導部□教務部□各学級担任・担当 ○ 進路先開拓の継続による産業現場等における実習の充実 □進路指導部□各学級担任・担当	○ 地域の人的・物的資源の活用による体験的学習の継続的、発展的な実施 □各学部□各担任・担当□地域学校協働推進委員会 ○ 小・中学校や高等学校、地域の障がいのない人々との交流及び共同学習の実施 □教務部□各学部 ○ 居住地校交流の継続と内容の充実 □教務部□管理職
5 地域支援の充実と情報発信	6 教職員の専門性の向上	7 不祥事の根絶	8 働き方改革の推進
○ 地域の小・中学校、高等学校のニーズに応じた、相談・研修支援の継続 □地域支援センター ○ 船引高等学校との合同研修会等の実施による協働体制の継続 □地域支援センター ○ 本校の自立活動の指導の実践事例の集積とHP及びnote等による情報発信 □教務部□地域支援センター□地域学校協働推進委員会□GIGAスクール構想委員会	○ クラスシートを活用した授業検討会、テーマに基づいたセミナー等の実施、YouTubeでの互見授業による専門性の向上 □研修部 ○ ICT機器の活用事例の共有とサポート体制の継続と外部研修会への積極的な参加 □GIGAスクール構想委員会 ○ 情報モラル教育、SNSトラブル対応に関する情報収集と指導の充実 □生徒指導部□いじめ防止対策委員会	○ 服務倫理委員会を中心としたコンプライアンスの確認と不祥事の根絶に係る具体的な取組の実施 □服務倫理委員会□全職員 ○ 不祥事を根絶する当事者意識の常態化と職場の規範意識を高める研修会の実施 □服務倫理委員会□全職員 ○ 交通事故を防ぐ安全確認の常態化の醸成と管理職による具体的な事故案件に関する継続的な注意喚起の実施 □服務倫理委員会□管理職	○ 働き方改革推進委員会を中心とした業務の削減を目的とした見直しの実施 □働き方改革推進委員会□全職員 ○ 校務運営組織と各担当業務、役割分担の見直し □校務運営委員会□管理職 ○ 働き方を改革するための時間外勤務時間の管理と健康を維持する体調の自己管理の徹底 □全職員